



みんなで育てる高松の子、みんなが育つ高松小学校

たかまつ

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

令和元年11月29日
練馬区立高松小学校 校報 No.556
校長 渡邊 万里子
TEL3999-3376
<http://www.takamatsu-e.nerima-ky.ed.jp/>

客観的に自分を見る

校長 渡邊 万里子

2年に一度の学芸会が行われ、本日は児童同士が鑑賞し、明日は保護者や地域の皆様方にご覧いただきます。練習期間の励ましや衣装の準備等、保護者の皆様の御協力に感謝申し上げます。「感動をみんなに！スポットライトを君に！」のスローガンの通り、明日も一人一人が輝いて感動を与えてくれることでしょう。どの学年の劇にも伝えたいメッセージがあります。ですからどの役もかけがえのない重要なものです。子供たちは自分の役の状態を考え、その役の気持ちを想像し、成りきって演じようと練習に励んできました。教師からの指導、子供たち同士の助言、そして何より自分自身で客観的に自分を見て創り上げ、全員でメッセージを届けます。我が子の活躍とともにぜひ学年で伝えたいメッセージを受け取ってほしいと思います。低・中・高学年の子供たちに学芸会に臨む気持ちを聞きました。「大きな声で頑張る。」「緊張するけれど、たくさんの人に見てもらいたい。」「自分の壁を乗り越える。」などでした。大勢の前で自分を表現することは大人でも緊張したり恥ずかしかったりします。それを乗り越え、やり遂げた時の達成感と観客からの拍手は、子供たちの大きな自信となるはずです。グローバルな時代を生きていく子供たちには人前でしっかりと自分の思いを表現できる力が必要です。学芸会はその力を育てる貴重な機会です。ご覧になってよかった点をお子様と話していただけたら、さらなる自信につながると思います。

また台風の影響で10月の岩井移動教室が延期になっていた6年生は、12月16日から3泊4日で下田移動教室に行きます。主体的に課題に取り組み、自分たちで最高の移動教室を創り上げようと各担当で準備をしています。ここでも客観的に自分を見て、自分自身と全体のレベルアップを図っていこうとしています。

2学期のまとめとともに1年の締めくくりをする慌ただしい時期になります。お世話になった方への感謝の気持ちを表し、新しい年を迎えるにあたり客観的に自分を見て、新たな目標をもってほしいと願っています。

月	火	水	木	金	土	日
						1 校庭 14:00 図書 14:00
2 振替休業日	3 全校朝会 読書月間(始)	4 委員会活動	5 委員会発表	6	7 校庭 14:00	8 校庭 14:00
9 全校朝会	10	11 午前授業 研究授業3-1	12 児童集会 兄弟学年遊び	13 移動教室事前健診6年	14 学校公開 セーフティ教室	15 校庭 14:00 校庭 14:00 図書 14:00 図書 14:00
16 移動教室6年始	17 安全指導	18 避難訓練 クラブ活動	19 連合音楽鑑賞教室5年 移動教室6年終	20 読書月間(終)	21 校庭 14:00	22 校庭 14:00 校庭 14:00 図書 14:00 図書 14:00
23 全校朝会 クリーン運動	24	25 終業式(4時間授業) 給食終	26 冬季休業日始	27	28 校庭 -	29 校庭 - 校庭 - 図書 - 図書 -
30 開放は6日(月)	31	※12月29日(日)～1月3日(金)は施設管理員を含め休暇となります。 急なご連絡は練馬区役所までお願いいたします。				

生活科学習の感想(2年)

次の世代に伝える和食

栄養士 宮島加奈代

2013年12月、ユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録されてから今年で6年になります。「和食」は日本の自然や歴史から生まれ、わたしたちが昔から受け継いできた食の文化です。

「和食」は、「ごはん」を中心に「汁物」と「おかず」、「漬け物」の組み合わせが基本形です。農林水産省の資料によると、国民一人あたりの米消費量(年間)は、昭和37年度をピークに一貫して減り続けており、約50年前の半分程度にまで減少しています。お米の消費量がそのまま和食、というわけではありませんが、和食文化の基礎ともいえるお米の重要性を改めて意識していただき、「ごはん」を中心とした食事づくりに取り組んでもらいたいと思います。

練馬区では、全小中学校で週に3.5回以上の米飯給食を実施することとしています。米飯給食が必ずしも和食とは限りませんが、積極的に和食を取り入れるよう努めております。また、給食では顆粒出汁などは使わず、本物の素材から出汁をとっています。本校では、昆布とカツオ節を合わせることでうま味が7~8倍にもなることを狙っています。出汁は素材の味を引き立たせ、かつ、うま味による満足感を得ることができます。幼少期にうま味と風味を味わうことは、特に味覚形成の面からみても欠かせません。

給食は次世代に和食を伝えるための、大切な手段のひとつだと認識しています。今後もご家庭と学校で、さらに協同していけたらと思います。

これから迎える年末年始は行事食が目白押しです。一つひとつの行事にどのような思いがこめられている食事なのか、調べてみるととても興味深いものがあります。

ぜひ、ご家庭の食卓で、話題にしてみてください。



・駐在所に行ってお巡りさんから、町探検で学校の周りを知るのとはとても大切なことと教えてもらいました。地域にどんなお店があるか分かるので、迷子にならないからです。

熊田 唯未

・僕は、紫方面・ピンク方面・オレンジ方面など色々な場所を歩きました。行ったこともない所も通りました。道路がどこへつながっているか分かりました。

崎村 維音

・リースを作る時いろんな工夫をしました。つるを1回巻いたら、遠くに離れてきれいに出来ているか確認して、太くて丈夫にできました。初めてだから大変だったけど楽しかったです。

石倉 愛莉咲

・大きないもや小さいいも、にんじんみたくないいもがありました。お気に入りはいも、にんじんみたくないいもです。大きないもは固くて抜くのに時間がかかりました。

林 芷瑩

・私は、人のいない野菜の販売所を初めて見ました。畑でのとれたての野菜が買えるので、今度買って食べてみたいと思いました。

村上 杏衣

・さつまいもを育てている畑では、自動で水をあげる機械をはじめて見ました。ぼくたちのさつまいもが大きく育ったのもこの機械のおかげだなと思いました。

三浦 煌大

・お母さんたちに手伝いをしてもらって、リース作りをしました。最初は佐久間さんの畑に行きさつまいものつるを取りました。次に丸い形のハンガーにつるを巻いて完成させました。

熊田 唯希

・光が丘公園へ遠足に行きました。カツラの木の葉っぱは、キャラメルのような香りがしました。どんぐりもいっぱいありました。アオキリは、葉っぱに種がついているのが分かりました。

小林 史弥



12月の生活目標

じょうぶな体をつくろう

12月に入り寒さも厳しくなりました。子供たちは寒さに負けずには校庭でサッカーやバスケットボール、鬼ごっこなどで元気に運動をしています。

さて、これから寒くなるにつれて気を付けていただきたいことが幾つかあります。まずは服装です。外と室内で衣服の調節をしないで見ている児童を目にします。ネックウォーマー、上着などは室内で脱ぐようにしましょう。登下校時の様子ですがポケットに手を入れたまま歩く姿も見かけます。転倒時に大きなけがにつながることもありますので、手が冷たい時には手袋をはめましょう。また、これからの季節、風邪・インフルエンザが流行する季節です。8~10時間の睡眠、3食バランスの取れた食事、うがい・石鹸を使用した手洗い、これらのことに気を配り子供たちが元気に生活できるよう引き続き指導をおこないます。ご家庭でもご協力お願い致します。

(生活指導委員会 養護教諭 三浦 悦子)